

群馬県中部県中部行政事務所平成 23 年度地域振興調整費補助金事業 & 前橋市補助事業

「赤城山環境ガイドボランティア養成講座 Step Ⅰ」

主催：NPO法人赤城自然塾
協力：群馬県中部行政事務所、前橋市、国立赤城青少年交流の家、
期日：平成 23 年 7 月 2 日（土）、7 月 3 日（日）、7 月 9 日（土） 3 日間
場所：国立赤城青少年交流の家、赤城山ビジターセンターおよび山上、山麓
対象者：平成 22 年度 step 修了生、平成 23 年度 step 受講者、赤城山に関心を持つ新規応募者
参加者：38 名
受講者：男子 25 名、女子 4 名
講師：5 名
来賓：2 名
主催者：1 名
事務局：1 名

時系列別報告

7 月 2 日 会場：国立赤城青少年交流の家、赤城山ビジターセンターおよび山上
8 : 3 0 受付開始（国立赤城青少年交流の家 1 階ロビー）
会場：音楽室 赤城自然塾活動紹介 CD 上映
8 : 5 0 セバン・カリス・スズキの伝説のスピーチ上映
開講式
主催者挨拶：天田 清之助（特定非営利活動法人赤城自然塾 理事長）
来賓挨拶：関口 氏（中部行政事務所次長） 横山 氏（前橋市商工観光部長）



9 : 1 5 講義開始
自然環境

講師：篠原 豊 氏



10:15

休憩

10:30

自然環境 /安心・安全・緊急対応

講師：吉田龍司 氏



11:30

バスにて山上へ移動

ビジターセンターにて昼食

13:00

赤城山大洞付近の近代史（ビジターセンターにて）

講師：斎藤 城樹 氏



14:15

バス乗車 小沼へ移動 夏の自然観察実践

講師：篠原 豊 氏、吉田龍司 氏

小沼・・・鳥居峠・・・覚満淵・・・ビジターセンター（バス乗車）



16:15

国立赤城青少年交流の家へ

17:30

国立赤青少年交流の家到着 オリエンテーション（音楽室）

18:00

ガイド心得（おもてなし）

講師：柴田 直美



19:20

講義終了

19:30 夕食・交流会（国立赤城青少年交流の家レストラン）



21:15 終了と後片付け

21:30 入浴開始

22:30 入浴終了

7月 3日

6:30 起床、清掃、退所準備

7:10 朝のつどい（つどいの広場・表のグラウンド）

7:25 モーニングウォーク（自然観察 篠原講師、吉田講師により指導）



8:00 朝食（国立赤城青少年交流の家レストラン）

8:45 持参荷物を音楽室へ移動

9:00 講義開始（音楽室）

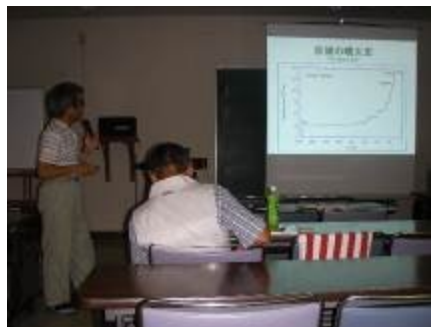
赤城学（総論、自然編）

講師：栗原 久 氏

10:20 休憩

10:35 赤城学（歴史、文化編）

講師：栗原 久 氏



11:55 昼食（国立赤城青少年交流の家レストラン）

13:00 バス乗車（玄関前）、山麓へ向けて出発（実践編）

講師：栗原 久 氏



16:45 終了、解散

7月 9日

11:30 集合（JR 前橋駅北口関越交通赤城山行きバス停）

11:53 定期バス乗車

車中ガイドの指導（ガイドテキストに従い、栗原講師、吉田講師により指導）



12:51 赤城少年自然の家 下車 昼食 (ミズナラ林にて)
湖畔散策道等を通ってビジターセンターへ



14:00 ふりかえり、閉講式 (ビジターセンター)



<ふりかえり> 修了証書受取者

細谷 泰治：3日間充実していてあっという間だった。赤城好きのプロガーとのオフ会では県外(栃木、埼玉)の人とも会ったりしている。赤城をもっと魅力あるところにしていきたい。そして県外の仲間にアピールしたい。Stepにも出て、これからも講師の方のように知識を深めていきたい。

小杉 智也：今まで疑問に思っていた事がクリヤーになってよかった。今後、本来の仕事を通じても関わっていききたい。

根岸 登：赤城は学校現場で郷土愛の授業をする際の素晴らしい題材。今回自分で、見て、感じて、学んだことを教育現場で活かし、地元を愛し環境を大事にする児童を育てていきたい。

井上雄一郎：講座で一番印象に残ったのは、赤城の成り立ち。阿蘇山などに匹敵するような素晴らしい山だと思った。覚えられなかったことは何度も繰り返して覚えたい。

佐伯 一：赤城は仕事としてくるところであったが、今後はDCもからめてアピールして活用していきたい。今後も自分なりに勉強していきたい。

高橋 哲雄：仕事をリタイアした後に何か赤城に関してできないかということで赤城自然塾に所属している。Stepにも出ている。1期、2期の修了生が一堂に会せる機会があるといい。今後も赤城に足を運んで楽しんでいきたい。

梶原 隆：植物はなかなか覚えられないので、外輪山を歩いて、そっちで活動していきたい。

福島 健太：仕事柄、赤城のことを質問されても答えられないことがあってくやしかった。もっと多くの人に赤城や群馬の良さを知ってもらえるようがんばっていきたい。

棚橋 弘：勢多東の活性化、吉井町の活性化にたづさわってきた。赤城が好きでよく歩いていた。外からではなく内から情報発信したいと思って参加した。一人よがりになりがちなので、色んな先生方に教

わって良かった。

小林 公一：23 年前に赤城のそばに引っ越してきた。ただ赤城山があるとしかしなかったが、今回いろいろ知れてよかった。Step でもがんばっていきいたい。

須田 好俊：NPO法人地球友の会を立ち上げた。今まで自然とはあまり関わりが無かったが、今回参加して本当に良かった。環境や自然のことを考える人がたくさんいてよかった。

太刀川浩美：今までは仕事の関係で参加したくてもできなかった。元々前橋の中心市街地の活性化に携わっていた。文章をみて勉強するよりも、自分の目で見て感じる事が大事なことはないかと思って参加した。フェイスブックにアップすると反響が大きかった。金曜 6 時半 前橋 CityFM 前橋町内博物館に出ている。

中島 史子：郷土愛というよりは、自分の興味をとことん追求したいと思って参加した。素晴らしい仲間と先生方に会えてよかった。ガイドということには自信はないが、こんごも関わっていけたらよい。

酒井 良征：赤城は見るものであって楽しむものではないと思っている人に、素晴らしさを啓蒙していきいたい。Step も宜しく願います。篠原先生の講義でも資料があると良かった。

< 講評 >

吉田 龍司：養成講座は一回で終わると思っていたら、予想に反して希望者が多くて感謝している。

自分の知識のためだけに学ぶのではなく、それを発信しようとしてくれる人たちも増えてきて、時代が変わってきた。今後企画している赤城山検定を受けてみるのもいい。新しい交友関係が広がるだろう。

栗原 久：生まれも育ちも群馬。赤城は自分の原点。

自分の住んでいるところから見える赤城が一番 上州人の原点

北海道旅行の際、北海道の人は前橋は知らなくても赤城山は知っていた。

赤城学の本の反響がだんだんでできてうれしい。

自分の地元のことを知れば地元が好きになる。地元を好きになれば環境を大事にするようになる。

動物は 食欲、睡眠欲、性欲、自分は学習欲、利他的行動欲があり、正にボランティアは人間らしい行動欲である。

赤城山ビジターセンター前の駐車場には、自家用車はそこそこあるが観光バスが無いのが残念。

その部分をどうにかしていかなければならない。

地元や日本の活性化につなげることを残りのライフワークにしていきたい。

* 赤城テクテクマップはビジターセンター窓口に言えばもらえる。

* 定期バス内ガイドだけでなく、バス外ガイドもできるとよい、Step はそれができるようになることをふまえて組まれている。

16 : 00 終了

16 : 15 定期バス乗車

車中ガイドの指導 (テキストに従い、栗原講師、吉田講師により指導)

17 : 10 JR 前橋駅北口 到着 解散

以上